

# 経済性エビデンスの二段階検証を通じたSaMDの市場実装を加速させる導入インセンティブモデルの実証研究

代表機関：株式会社mediVR

分担機関：岡山大学 新医療研究開発センター・次世代医療機器開発部、情報・システム研究機構 統計数理研究所

全研究開発期間：2025/11/13～ 2026/3/31

## 研究の背景・目的

- SaMDの普及を阻む「費用対効果の不明瞭さ」を解消するため、「mediVR KAGURA」を用いた経済価値を可視化すること。
- 「業務効率化」と「投資対効果（ROI）」の二段階検証を行い、SaMD導入インセンティブモデルを構築する。

## 事業達成状況および成果

- 実証基盤：目標を大幅に上回る全国45施設での実証を完了（目標比450%）。
- 業務効率化：他のリハ手法に比べ、総拘束時間の大幅な短縮と省スペース性（平均6.2㎡）における統計的優位性を証明。
- ROI数理モデル化：現場変数（導入・維持コスト、業務効率化指標等）を統合した「ROI推定式」を策定。
- 市場受容性を可視化：導入意欲がROI 12ヵ月で91%、38.4ヵ月で50%となる「市場受容性予測モデル」を可視化した。

## 研究の将来展望

- 本検証モデルをSaMD業界のベンチマークとし、国内SaMD産業の市場実装を加速させる。

## 概要イメージ



$$P = \frac{C_{initial}}{\left[ \min \left( \frac{N}{1-e} \cdot \beta, N_{limit} \right) \cdot R \cdot D_{op} \right] - (C_{run} \cdot 12)}$$

推定購入確率 (%)

